

28年度当初予算の総額は1,026億8,644万円

28年度の予算が決まりました。予算とは1年間に入ってくるお金（歳入）と使うお金（歳出）の見積りのことです。ここでは、その概要をお知らせします。一般会計主要事業の個別の予算額は3～4ページに掲載しています。※金額の単位をそろえるため、原則1万円未満を四捨五入しました。そのため、公表した他の資料と異なる場合があります

28年度の予算規模

市の予算は、①一般会計 ②特別会計 ③公営企業会計の3つに分かれています。簡単にいえば「会計」とは財布に当たるもの。財布を分けて管理することで、お金の出し入れを分かりやすくしています。一般会計では、福祉や教育など市の基本的な経費を扱います。特別会計では国民健康保険料や介護保険料など、特定の収入がある事業で一般会計と分け

ることで収支をはっきりさせる必要があるものを扱っています。公営企業会計は独立採算制をとっている公営企業の会計のことで、本市では水道事業、公共下水道事業が該当します。いずれも経営に必要な費用は水道料金や下水道使用料などの事業収益で賄われています。それぞれの会計の予算規模は次の表のとおりです。予算総額は、27年度に比べて19億5,943万円減り、1,026億8,644万円となりました。

■市の予算

区 分		予 算 額	対前年度比
①	一 般 会 計	560億8,100万円	0.0%増
②	国民健康保険事業	223億9,496万円	4.5%減
	介護保険事業	107億1,041万円	2.1%増
	墓 地 事 業	5,241万円	85.1%減
	後期高齢者医療	20億622万円	7.9%増
	小 計	351億6,400万円	2.8%減
③	水 道 事 業	66億3,043万円	7.7%減
	公共下水道事業	48億1,101万円	8.0%減
	小 計	114億4,144万円	7.9%減
合 計		1,026億8,644万円	1.9%減

